小城市子育てオフィス実証事業

小城市 OGI-CITY × mama square

地方創生
推進交付金

子どもと一緒に出勤・帰宅

ママが安心して
子どものそばで働ける

ワーキングスペース

コミュニティ休憩スペース

キッズスペース

資料2

【全体概要】

本事業においては、「小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に掲げている「”子は宝”を育む小城づくり～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～」の一環として、子育て期間中の母親「子育てママ」の継続的な収入確保、社会復帰に向けたブランクの解消やスキルの習得、また同じ悩みを抱える母親が集う新たな地域コミュニティの創出を図るため、育児に合わせた柔軟な働き方を実現できるテレワークの導入に向けて、子育て世代の希望を実現できる環境整備の実証・検証を実施した。

【実証スケジュール】

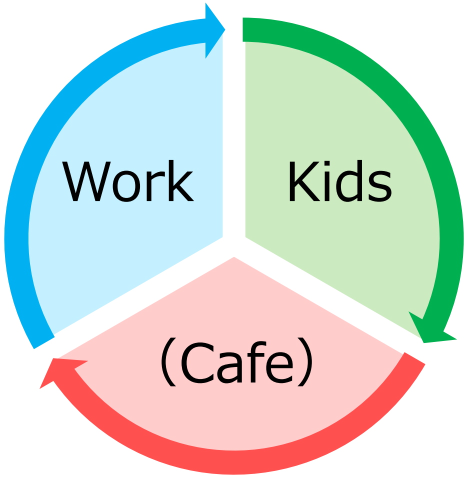
時期	実施内容
平成30年9月	拠点の調査開始
平成30年12月3日	拠点の施工開始
平成30年12月14日	応募者面接会開始日
平成30年12月27日	拠点構築完了
平成31年1月17日	拠点開所
平成31年1月～3月	実証期間

株式会社
ママスクエア

保育園でも 在宅でもない
ママが 子どものそばで働ける
新しい ワーキングスタイル

社　名	株式会社ママスクエア
代　表	代表取締役　藤代　聡
設　立	平成26年12月24日
資 本 金	7億9,860万円(資本準備金を含む)
本　社	東京都港区芝２丁目２２番１５号 ＳＴＫビル ４階
支　社	兵庫県神戸市中央区雲居通6-1-15 三宮オーパ2店舗内8階
事業内容	託児付ワーキングスペースの運営・展開 コールセンター事業 バックオフィス事業 マーケティングリサーチ業 保育、託児施設の運営 飲食店の運営その他

子育てママの「働きたい！」
という思いを実現する仕組みです。



これまで働くことのできなかった潜在能力の高い主婦の方々が集まりやすい環境が整います。
主婦ならではの提案力、企画力で、女性の新しい働き方のムーブメントを掘り起こすイノベーターとして、サポートします。

ママスクエア　店舗一覧

九州で２店舗目
自治体連携としては初！

子育てオフィス事業　メリット

小城市

・まち・ひと・しごと総合戦略
（仕事・子育て）
・地方創生推進交付金の活用
・保育サービス（子育て相談の場、新しい保育環境、待機児童）
・子育てしやすいまち
・働き方改革（テレワーク）
・女性の活躍促進
・牛津拠点地区市街地活性化
・企業誘致
・官民協働

ママスクエア

・自治体連携⇒自立
・九州初の自治体連携モデル
・佐賀県初進出

子育てママ

・仕事ができる（所得・スキル）
・短時間勤務
・社会参加
・仕事ブランクの緩和
・子どもの見守り（子どもも安心）
・子育て相談（コミュニティ）

連携企業

・アウトソーシング⇒産業振興
・働き方改革
（優秀な人材の繋ぎ止め、仕事ブランクの緩和、復職支援、ＯＡスキル向上）
・企業間のつながり

関連団体

・モニター実験
・アンケート（ママの声）

拠点の構築

【拠点の住所・条件】

施設の所在地:
佐賀県小城市牛津町柿樋瀬1062-1
ショッピングプラザセリオ2階

施設の名称:
ショッピングプラザセリオ

【主な設備・システム】

・デスクトップPC 28台 ノートPC 3台 合計31台
・テレワークシステム導入
・ネットワークシステム
・キッズスペース設備(床&腰壁クッションなど)
・コミュニティスペース(テーブル、椅子、ロッカーなど)

【拠点の内観・外観】

コミュニティペース

おむつ交換室

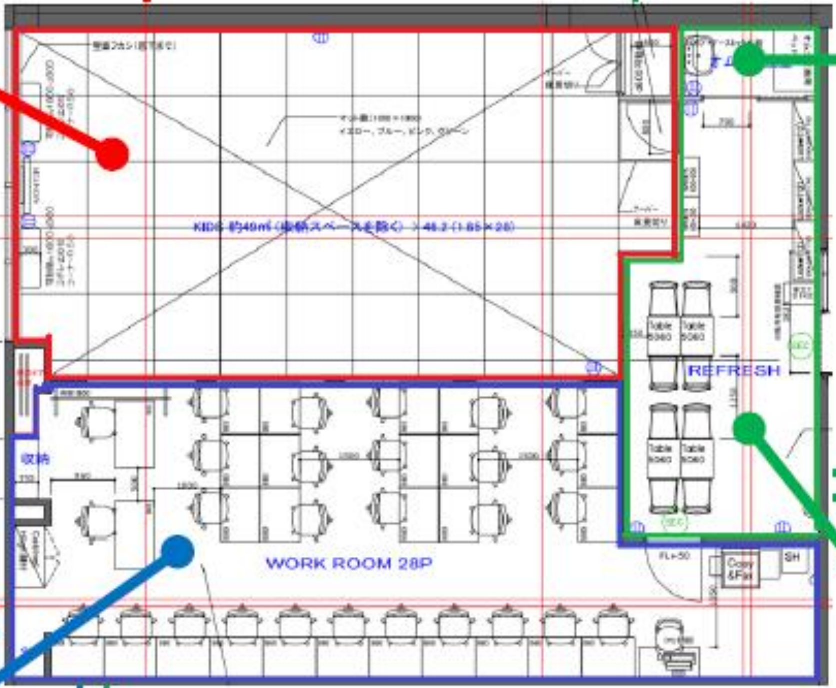
外観

キッズスペース

ワーキングスペース

拠点の見取り図

キッズスペース



おむつ交換室

ワークスペース

コミュニティスペース

母親の募集と採用

【募集した職種・勤務条件】

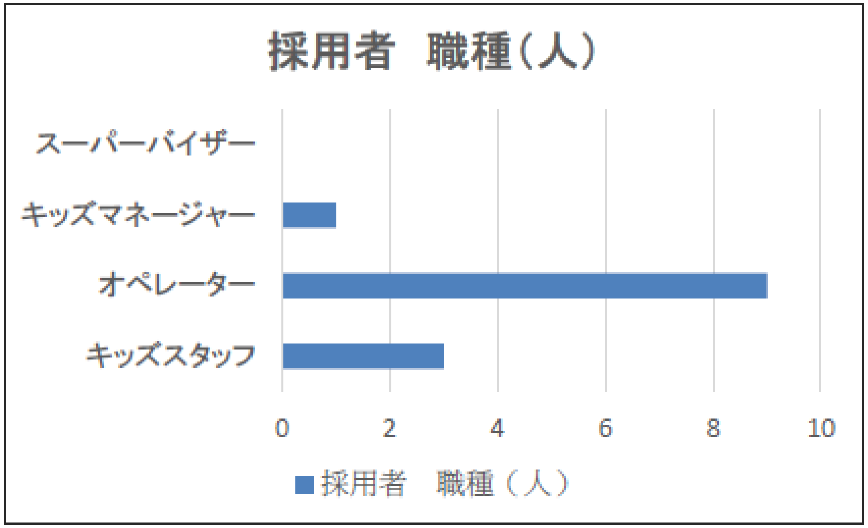
＜応募した職種＞

・スーパーバイザー職：勤怠管理、業務の進捗管理、シフト調整といった店舗の運営・管理全般のマネジメントを行う
・キッズマネージャー職：キッズルームの安全面の管理やキッズスタッフのとりまとめを中心に店舗全体のマネジメントを行う
・オペレーター職：会社が受注した業務に従事する。
・キッズスタッフ職：キッズスペースにて子どもの見守りを行う。

＜勤務条件＞

現在の母親の就労形態としては午前午後の2パターンの1ヶ月毎のシフト制をとっており、業務の案件量によって変わる変動制となっている。基本的な営業時間は9:30～18:00の営業とし、土日祝日は他店舗同様、家族で過ごすことを希望する母親が多かったことから平日のみの営業とした。なお、業務量が安定され、母親の要望が強いのであれば、土日や祝日の営業も検討する。

【応募者の職種・採用者数】



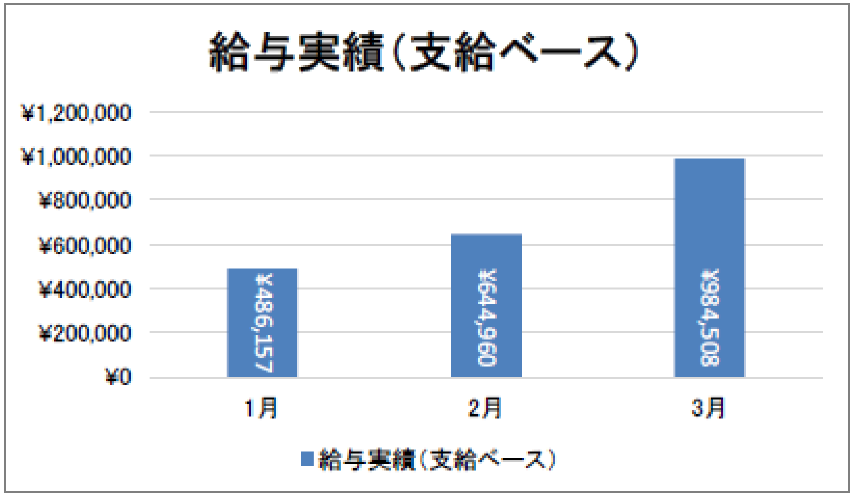
・スーパーバイザー：1名（平成31年4月採用）
・キッズマネージャー：1名
・オペレーター職：9名
・キッズスタッフ職：3名

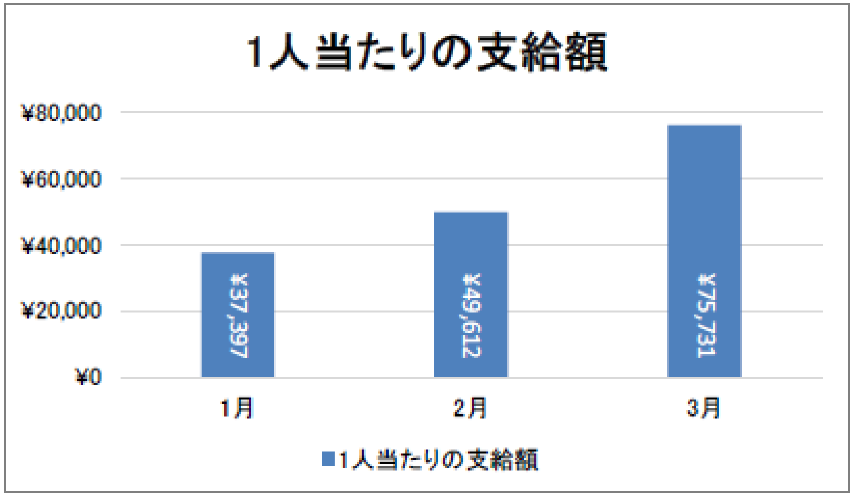
合計13名

実証実績

【勤務実績】 母親の勤務実績(出勤日数、労働時間)について実証期間にて算出したところ、一人当たりの勤務日数及び労働時間は約12日／月、労働時間は約52時間／月、約4.1時間/日であった。

【給与実績】 母親の勤務実績(出勤日数、労働時間)の労働の対価として給与を支給した。
実証期間の合計は店舗全体で2,115,625円、1人当たりおよそ54,247円(交通費含む)の給与を支払った。





【算出根拠(実数)】

対象月	出勤人数	月平均 出勤日数/人	月平均 労働時間/人	日平均 労働時間/人
1月	13	8日	32時間	4時間
2月	13	12日	47時間	3.9時間
3月	13	17日	77時間	4.5時間
平均	13	12日	52時間	4.1時間

小城市子育てオフィス実証事業　KPI進捗管理

No	KPIの名称		H30年度 （H31年3月1日～H31年3月31日） 1年目	R元年度 （H31年4月1日～R2年3月31日） 2年目	R2年度 （R2年4月1日～R3年3月31日） 3年目
1	子育てオフィスでの女性雇用者の合計年収（円）	目標値	360,000	6,480,000	8,640,000
		実績値	980,308		
2	テレワーク業務等における年間売上額（円）	目標値	800,000	15,000,000	18,000,000
		実績値	205,380		
3	見守り保育実績数（人）	目標値	120	2,160	2,880
		実績値	147		
4	女性のためのOAスキル・接遇等のセミナー、働き方改革セミナー、子育てオフィス企業説明会等の参加人数（人）	目標値	50	185	5
		実績値	57		

事業計画概要

◆H30年度子育てオフィスの整備・運営事業

【準備試行段階】

乳幼児を持つ母親が子どもと一緒に出勤し、柔軟に働ける環境を整えるため、本市から委託を受けた民間事業所が、市内ショッピングセンターの空き店舗や空きスペース等を活用し、託児スペースを備えたオフィスを整備・運営する。

当該オフィスでは、1年目10名、2年目15名、3年目20名程度の母親(短時間勤務可能・登録は20～50名程度)が民間事業者が受注したテレワーク業務を行い、その間、民間事業者が採用した見守保育スタッフが乳幼児の見守り等を行うことにより、適宜、母親が授乳や食事、おむつ替え等を行える体制を整える。加えて、テレワークスペースとは別に簡易的なコミュニティ休憩スペースを設け、母親が子どもに食事を食べさせる場を確保する。

◆H31年度子育てママ働き方改革地域貢献事業

【本格実施段階】

地域企業に貢献するような若い世代の母親の教育やキャリア形成を行う。子育てしながら働きたい母親を対象に、出産や子育てによる離職に伴うキャリアブランクを埋め、早期に再就労できるようOAスキル・接遇等の研修を行う。

地元企業に働き方改革のPRを行う。具体的には、子育てオフィスの視察の受入や地元企業を対象に働き方改革セミナー等を行う。

◆H32年度子育てオフィス自立強化・働き方改革推進事業

【自立強化・改革発展段階】

子育てオフィスと地元企業の連携の深化によって、拠点を安定して運営できる力を強化する。地元企業が依頼する「仕事分野」と「業務量」の拡大を目指す。

特集

小城で叶う 子育てと仕事の両立

少子高齢化が進むにつれ、女性の就業率が上昇しています。
生産年齢人口（15歳以上65歳未満の人口）を基にした女性の就業率は、男女雇用機会均等法が施行された1986年は53.1％でしたが、30年後の2016年には66％と、約13％上昇しています。
特に子育て期の25〜44歳の女性の就業率は約16％上昇していて、育児や介護などと両立しながら仕事をするためには多様で柔軟な働き方が必要となってきました。
今回の特集では、子育てと仕事の両立を支援する新しい働き方や、市内で活用できるサービスをご紹介します。

（参考：男女共同参画白書 平成29年版）

mama square

佐賀県・初！「ママスクエア小城店」誕生

働きながら育児ができるママの新しい働き方！自治体との連携は九州初！

子どもと一緒に通勤し、ワーキングスペースからガラス越しに見える位置にキッズスペースが併設され、専任のキッズサポートスタッフが子どもたちを見守る「ママスクエア」。「子育ても仕事も頑張りたい」お母さんたちの、新しい働き方として全国に広がっているママスクエアが小城市にオープンしました。

市は子育てオフィス実証事業として国の地方創生推進交付金や小城市への「ふるさと納税寄附金」を活用し、子育て中の母親の継続的な収入確保、社会復帰に向けたブランクの解消やスキルの習得、また、同じ悩みを抱える母親が集う新たな地域コミュニティをつくるため、子育てに合わせた柔軟な働き方を実現することができる、「株式会社ママスクエア（本社 東京都）」と連携を進め、「ママスクエア小城店」を1月17日、ショッピングプラザセリオ（牛津町）にオープンしました。

ママスクエアが佐賀県内に出店するのは初めてで、自治体との連携も九州では初めてとなります。

主な業務は営業支援やコールセンター業務などを行い、さまざまな企業からの業務を担います。子どもの成長を見逃すことなく、一方で集中して仕事ができる環境が整っているため、キャリア継続を諦めたくないという希望をかなえる新しい働き方としても注目を集めています。

さらに、セリオ内に開設したことで、「仕事」「保育」「買い物」をまとめて行うことができ、利便性に優れています。

市では今後も「〝子は宝〟を育む小城づくり」の実現に向けて安心して子どもを育てられる環境づくりに取り組んでいきます。

ママスクエア小城店で働くお母さんに初日の感想を聞きました。

キッズサポート

渡邊 まみさん（牛津町）

子ども連れで働けることにひかれ、応募しました。未経験でもきちんと研修をしていただけることも安心でした。これから子どもたちが安全で安心して過ごせる場所になれるように、また、お母さんたちが安心して自分の業務ができるような環境づくりを心がけていきたいと思います。

オペレーター

小松 京子さん（牛津町） 由芽（ゆめ）ちゃん

上の子を出産後、仕事復帰をしようと思いましたが保育料も高く、なかなか働く機会がありませんでした。ママスクエアでなら、上の子が幼稚園に行っている間に、下の子と一緒に通勤できます。清潔感があっておもちゃもたくさんあり、子どもも楽しそうに他のお友だちと一緒に遊んでいるので安心しています。また、長期休暇の時は上の子も一緒に通勤できるところが嬉しいです。研修もしっかりしていただけるので、頑張って働きたいです。

株式会社ママスクエア

代表取締役社長 藤代（ふじしろ） 聡（さとし）さん

この度、佐賀県初となるママスクエアを小城市にオープンしました。

ママスクエアは、2019年1月現在23拠点を運営しており、小城市は22拠点目となります。九州地域の中でも小城市とは、子育て環境の整備に対する想いに共通点が多くあり、この地で一緒に女性活躍支援を展開することになりました。

現在十数人のスタッフでスタートしていますが、今後さらに人員を増やし、子育てと仕事の両立がかなう場所として一層取り組んでいきます。

「働いている親の姿を子どもに見せることが、情操教育上もよい」と言われています。

ママスクエアはガラス一枚でキッズスペースとワーキングオフィスが隣り合っているので、いつでも働く姿を見ることができます。

佐賀県で初の店舗を小城市内にオープンできたことを大きなチャンスと捉えています。

皆さん、どうぞよろしくお願いします。

問 株式会社ママスクエア

ママスクエア で検索